

なくそう核兵器 2018やまなし・平和行進ニュース『あるこう』NO1,

原水爆禁止国民平和行進山梨県実行委員会 7月12日

<長野から山梨へ>

7月11日12時半、国民平和行進が山梨入り。長野県富士見町「葛木宿」で総勢80人の引き継ぎ集会。「原爆を許すまじ」の合唱で始まり、全国通し行進者・山口逸郎さんが元気な挨拶。大きな拍手を受けました。全国青年タスキリレーでは、長野・山梨3名ずつの青年が「私たちが平和を引き継ぎます」とエールを交換しました。参加者全員が「がんばろう」と応えました。

北杜市役所前、歓迎集会、総勢100人超 平和行進団と市の職員のみなさん

歓迎挨拶に立たれた渡辺北杜市長は「長い間、核兵器なくせと歩かれたみなさんの努力が新しい状況をつくりました」と核兵器禁止条約の国連での採択を評価。「市としても、核兵器廃絶都市宣言の看板を市民のみなさんに見えるような場所に新しく設置した」と報告、大きな拍手が起きました。

全国通し行進者・山口逸郎さん、元気な挨拶に『オー』と感嘆の声

全国通し行進者・山口逸郎さんが「86歳です、北海道の根室から歩いてきました」と元気っぱいの挨拶。行進参加者も北杜市職員も『オー』と感嘆の声をあげ、大きな拍手で応えました。北杜市新婦人のみなさんから数千羽の折りつるを託され、市長さんから世界大会ペナントとヒバクシャ署名を受け取り。「折り鶴」の大合唱で歓迎集会を締めくくりました。

北杜市行進中、高齢の女性からそれぞれ1,000円の募金も寄せられました。

全国通し行進者・山口逸郎さんが募金を受け取り、お礼を述べました。

*休憩にクーコップから冷たい飲み物とキャンディが提供され、全員ホット一息。

韮崎駅前で、ヒバクシャ署名。高校生も含め15分で17筆、

韮崎市役所から歩いた行進団は、行進終了後、韮崎駅前、ヒバクシャ署名。高校生も含め15分で17筆を集めました。参加者からは「1分にひとりが署名なんて凄い反応だね」との声も上がりました。

内藤韮崎市長が「ヒバクシャ国際署名にサイン」、紹介される

市役所前での歓迎集会では、今年、内藤市長が「ヒバクシャ国際署名にサインしたこと」が紹介され拍手が起きました。挨拶は副市長さんが行い、行進団が見えなくなるまで見送っていただきました。

初日平和行進参加者は総勢162人でした。

(北杜市、韮崎市で歓迎にいただいた職員のみなさん、52人が含まれています)

<山口逸郎さんと夕食会>

初日最後に、全国通し行進者・山口逸郎さんが5月から歩き続けたことへの慰労と苦労話を聞く夕食会が実行委員会の役員のみなさんの参加で和やかにおこなわれ、明日からの行進成功を誓い合いました。